

しらかべ



2014年7月16日 人権・同和教育部発行

盛夏の候、保護者の皆様方におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃は本校の人権・同和教育にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今月号は6月に行った「人権・同和教育 LHR」での学習内容を学び終えた生徒の感想を中心に紹介します。ぜひ、ご家庭でお読みいただければ幸いです。また、LHR後に家庭で話し合った内容や「しらかべ」をお読みいただいた感想や本校の人権・同和教育の取り組みについてのご意見などがありましたら、別紙返信用紙にご記入の上、1学期保護者懇談の折に担任の先生にお渡しください。



「人権」ってなんだろう？

人は誰しも「幸せに（自由に、楽しく、豊かに）生きたい」という願いを持っています。人権とは、人がその願いを追求する権利であり、“誰もが等しく、生まれながらに持っている、誰からも侵されない”権利です。しかしながら、現実には同和問題をはじめ、障がい者、外国人、ハンセン病回復者、HIV感染者等に対する人権侵害など、さまざまな人権課題が依然として存在します。また近年、社会状況の変化に伴い、従来の人権問題に加え、インターネット等による人権侵害など新たな人権課題が発生しており、これらの課題に対する取り組みも積極的に推進していくことが求められています。

差別のない社会を実現するためには、**自分と他人の人権を大切にする気持ち＝「人権感覚」**を身につけることが何よりも大切なのではないのでしょうか。

8月は「同和問題啓発強調月間」です



香川県人権啓発推進会議では、1965(昭和40)年8月に「同和対策審議会答申」がなされたことから、8月を「同和問題啓発強調月間」と定めています。同和問題は、我が国社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、今日でも、憲法で保障されている基本的人権が十分に保障されていないという重大な社会問題です。同和問題の解決を図るためには、すべての人々がお互いの人権を大切にすることの重要性を正しく理解し、行動することが必要です。

この夏休みを、お子さまと一緒に人権について理解を深めるきっかけにしてみませんか。

2年生の1学期の取り組みについて

昨年度は、ハンセン病回復者や障がい者をとりまく課題など、私たちの身のまわりに残っているさまざまな人権課題について学習を行いました。その学習を通じて、私たちの人権の大切さについて学習を続けてきました。

今年度は、私たちの社会が抱える人権課題の中でも、特に同和問題に焦点を当てて1年間学習を続けていきます。



1学期は、同和問題学習のスタートとして、6月18日(水)の6・7校時に、徳島県同和地区青少年団体連絡協議会『止場の会』事務局の中倉茂樹さんをお招きして、「ぬくもりを感じて」という演題でお話していただきました。

そのお話の中で、①中倉さん自身小学校時代にいじめられていたこと、②高校時代に自分が被差別部落出身だと人権集会で打ち明けると友人たちが温かく自分を励ましてくれたこと、③結婚する際に受けた差別がどのようなものだったかということ等を話してくださいました。生徒は、中倉さんの一言一言に耳を傾け、真剣な表情でお話を聞いていました。

中倉さんのお話を聞いた後、生徒は感想文を書きました。その中の主なものを紹介します。

- ・ 今日の講演会を聞いて、私の考えがたくさん変わりました。私は小学生の時からさまざまな人権についての学習をしてきたが、どこか自分には関係のないところで起きている問題と思っていました。でも、今日の講演会を聞いて、人権の問題は自分の身近で起きている自分自身にも関係する問題だと改めて思いました。
- ・ 今日のお話を聞く中で、中倉さんが実際に体験したことと自分のことを照らし合わせて考えることができとてもためになりました。また、学校生活のいじめの話だけでなく、結婚に関する差別のお話もありました。結婚差別については、これまであまり考えたことがなかったのでとてもいい機会になりました。自分も幸せになりたい他の人も幸せでなくてはならないので、人権について考えることは必要不可欠だと、今日のお話を通じて思いました。
- ・ 中倉さんのお話を聞いて、人権について自分から考えてみようという気持ちになりました。周囲から色々な差別を受けても力強く生きている人たちの活動を知り、自分にも勇気や生きる力をもらえ、まだまだ頑張ってみようという気合いももらうことができました。

中倉さんのお話を聞く中で、多くの生徒が心を動かされ、同和問題に関わる人権課題を自分のこととして捉えることができたようです。私たちは、この生徒たちの気持ちを大切にしながら7月30日予定の人権啓発学習会（各クラス2名参加）や2学期以降の人権・同和教育 LHR で、同和問題に対する意識を向上させる学習を行いたいと考えています。